

スポーツの楽しさ実感

美深でバスケット教室・明治大の塚本さん講師に



【美深】スポーツ選手ふれあい指導事業「ミニバスケットボール教室」が八日、美深町民体育館で開かれ、講師に日本リーグなどで優勝経験を持ち、現在は明治大学ヘッドコーチを務めている塚本清彦さんを招いた。

同事業は、文部科学省が日本体育協会に事業を委託し、自治体などを対象に各種スポーツ教室を展開しているもので、美深町では昨年六月のサッカー、今年七月の野球に続き三度目の開催。

教室は、各種競技を通してスポーツに親しむきっかけをつくり、体力や運動能力の向上に結び付けるとともに、選手と交流することでスポーツの楽しさを実感してもらうことが狙い。今回は町民体育館で月に一回開かれている「びふかスポーツクラブKids」とリンクさせて開催した。

講師の塚本さんは昭和三十六年二月、東京都生まれ。明治大学を卒業後、日本鋼管に入り、バスケットボールの日本リーグで二回、オールジャパンで二回の優勝に貢献。平成八年に現役引退。十六年から明治大学のヘッドコーチを務める一方、アメリカのバスケットボールリーグ「NBA」などで解説を担当。

教室にはスポーツクラブ会員（小学生）六十人が参加。塚本さんは子供たちを励ましながらランニングやドリブル、シュートなどプレーの基礎を指導。マンツーマンで教える場面やミニゲームなどもあり、競技の楽しさを伝えた。

美深町内では、バスケットボールの少年団はないが、中学校と高校に部活動が設けられている。子供たちは今回の教室を通してバスケットボールをより身近なスポーツとして楽しみ、親しんでいる様子だった。

（写真＝塚本さんに励まされながら競技に親しむ子供たち）

[2007-12-10-19:00] 名寄新聞社